

会 議 録

名 称	平成 29 年度第 4 回岸和田市地域公共交通協議会									
開催日時 及び場所	平成 30 年 1 月 31 (水) 午後 2 時 30 分～午後 3 時 30 分 岸和田市立産業会館 2階集会室									
出席者 委員 29 名 うち 出席 27 名 代理 6 名	根末	春木	津村	大井	阪部	多和	小出	長澤	岩佐	山崎
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	酒井	辻	澁谷	片桐	吉野	安藤	西田	寺田	田中	戸治野
	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日野	伊勢	湯川	田内	太田	安渡	別所	西岡	土井	
	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	事務局（まちづくり推進部市街地整備課） 実森課長、岸田交通政策担当主幹、森下主査、本田主査、新谷									
傍 聴 者	0 名									
<p><<概要>></p> <p>■ 議事</p> <p>① 岸和田市交通まちづくりアクションプランについて</p> <p>② 岸和田市交通まちづくりアクションプラン【総合交通戦略編】について</p> <p>1) 将来都市像と戦略目標の設定について</p> <p>2) 目標達成に必要な施策と評価指標・数値目標の設定（案）について</p> <p>3) 施策パッケージと実施プログラム（案）について</p> <p>4) 推進体制（案）について</p>										
<p><<内容>></p> <p>■ 岸和田市地域公共交通協議会の会議録について</p> <p>（会長） 会長より本日の会議録署名人として吉野委員を指名</p> <p>■ 内容</p> <p>① 岸和田市交通まちづくりアクションプランについて</p> <p>（事務局） 資料 1 を用いて説明</p> <p style="text-align: right;">～委員からの質問～</p> <p>（会長） 意見、質問等あるか。</p> <p>なければ本日の協議会の位置付けを確認いただいたということで①岸和田市交通まちづくりアクションプランについては終えたいと思う。</p>										
<p>② 岸和田市交通まちづくりアクションプラン【総合交通戦略編】について</p> <p>1) 将来都市像と戦略目標の設定について</p> <p>2) 目標達成に必要な施策と評価指標・数値目標の設定（案）について</p> <p>（事務局） 資料 2・3 を用いて説明</p> <p style="text-align: right;">～委員からの質問～</p> <p>（会長） 意見、質問等あるか。</p> <p>（副会長） 資料 4 と関係するかと思うが、ここで挙げている評価指標の現況値と目標値については良いと思う。この後、施策の説明があり、例えば、道路の整備やバリアフリー事業等については進捗状況が確認できるが、事業が進捗しないものに対して、この評価を聞いたときに、仮に評価が上がっていても、事業(施策)の評価にはならない。もともとの大きな目標値に対して、すぐに良くなると考えられないので、目標値に向けて色々な施策をすることで、その目標が改善されるであろうという設定になっている。そうすると、この後の施策がどの程度進</p>										

扱っているのか、施策をしたことがどう評価されるのか、ということが問題になる。その結果として、この数値が良くなるという事である。施策の進捗状況や施策に対する評価と、ここに挙げている各目標の評価指標との関係を、資料 1 の施策展開の所でチェックをする作業があるという記載があったほうが良い。場合によっては、相互関係を分析して、次の施策の改善にも繋がるような記述がどこかに欲しいと思う。入れる場所も含め検討していただきたい。

(事務局) 最後に説明させていただくが、4) 推進体制のところでは毎年事業の進捗を確認し、ものによっては、効果がすぐに発現するものもあるし、発現しにくいものもある。それを進行管理していく中で、確認するということを記載している。

(副会長) 事業そのものの評価と、事業によって得られた効果の評価と両方検討していただきたい。

(委員) 定量的な指標の所では、人口に対する乗車人員等は記載されているが、資料 3 の4頁の目標のⅠの「誰もが暮らしやすく、外出・移動しやすい交通体系の構築」のところで期待される効果として「歩行空間・自転車走行空間の整備」と記載されているので、実際に歩行者専用道路の整備が目標のうち何キロ達成された、あるいは、自転車専用道路が、具体的にこれだけ整備された等、そういう区分を指標の中に入れるとより効果がわかるのではないか。

(事務局) 市内に何キロ道路があって、何パーセント整備された等の整備率は事業の評価か進行管理の時に挙げさせていただきたい。

(委員) 資料 2 の3頁で、色々な拠点の色で分けられているが、その中で山側に地域拠点が設定されている。おそらく、ここでも何らかの施策を展開していくと思う。その中で目標Ⅱの「拠点の活力促進に向けた交通環境の充実」という中での拠点は、おそらくここに描かれている全ての拠点が該当すると思う。そういう意味では、地域拠点の活力の促進につながったかどうかという評価指標を入れる必要はないのか。

(事務局) 施策の内容が鉄道駅周辺の拠点になっているので、少し離れた丘陵地区周辺の拠点の活力推進をどう図るのかという所になると思う。バス路線があるので、バスの乗車率等でカバーできるとは考えている。

(副会長) おそらく今は、鉄道駅周辺の都市機能を持っている所を中心に拠点の強化という事だと思う。広域の交通を考えたときに鉄道軸と、道路軸がある。特に、開発が色々されている所だと都市計画上も道路軸を拠点にゾーニングされている。最初の段階は、恐らく駅中心にした交通結節点の機能を重視すると良いのだが、将来的には、ここで挙げられている拠点の強化を考えると、鉄道軸以外の所の軸についても、検討していく必要があると思う。それこそ、PDCA もあると思うが、まず現状をふまえて、最初の段階の計画としては、鉄道駅中心の特に交通結節点と歩行者空間の整備を中心に人が賑わうという事を検討しており、将来的には、もしかしたら鉄道駅以外の拠点についての検討も必要だという理解でよろしいか。

(会長) 先程の副会長の発言に関しては、推進体制のところでは説明があらうかと思う。

② 岸和田市交通まちづくりアクションプラン【総合交通戦略編】について

3) 施策パッケージと実施プログラム(案)について

(事務局) 資料 4 を用いて説明

～委員からの質問～

(副会長) 先程の拠点の話で、念押しするように言ってしまったが、戦略目標Ⅲの(5)、いわゆる拠点間の整備の所について、そこに含まれるという理解でもいいかと思う。将来都市像の中の交流拠点や交通拠点の名称が出てきているので、それを整理して、もともと上位計画であるゾーニングの中の拠点を踏まえた上で、鉄道駅を中心にしたような交通結節点機能のより高い所は、先程の所で対応していくものとする。また、将来新しく道路整備や開発されて整備されるところも含めて、拠点を結ぶような目標Ⅲのところの部分では、それに関連する施策をするという事でもいいかもしれない。うまくはまるような形で検討いただきたい。

(会長) 他にあるか。

(委員) 前回、バスとバスを乗り継ぐ交通結節点をイメージした時に、バスを待つ際の環境について言わせていただいたが、資料 4 の 38 頁に参考資料として、イトインスペースがあるコンビニエンスストア等があれば、雨でも強風でも寒い時、暑い時でも待てるし、子供連れでも待てると思う。市にとってもお店にとっても、ウィンウィンであり良いアイデアだと思う。

委員が、前回おっしゃっていた、バスと自転車の結節点については、37頁に「サイクルア
ンドバスライド駐輪場」というものが記載されており、とても良いと思った。
岸和田市で地域バスを導入するにあたって、地域住民の意識の醸成をはかる講習会について
39頁に記載されているが、具体的に皆さんの意見を引き出せるし、資料としても残るので
視覚的にわかるようなとても良い方法だと思う。市民の意識を本気に出来るようなワークシ
ョップを是非岸和田市でも開催してもらいたい。生野区での告知チラシが載っているが、「わ
がまち、わがこと」と書いてあり、これを一人ひとりの市民が他人事ではなく、重要なこと
であるということをしかり意識してもらうような学習会を実施してもらいたい。
その事によって、31頁の「住民が活動しやすい環境づくり支援」の「地域が主体となり地
域の公共交通について考える検討体制を確立する」とある。「確立する」のはとても大変だ
と思う。まず何も無いところから立ち上げて、体制や制度を確立してそれを継続していか
なくてはならない。どれも大変なことだと思うが、途中で挫折することなく、ひとつひとつを
しかり出来るようにすすめていただきたい。

(会長)

他にあるか。

なければ3) 施策パッケージと実施プログラム(案)についてはおおよそ了承ということで
よろしいか。

② 岸和田市交通まちづくりアクションプラン【総合交通戦略編】について

4) 推進体制(案)について

(事務局)

資料5を用いて説明

～委員からの質問～

(副会長)

先程の分がこちらに入っていると思うが、2頁、①施策実施状況の評価(年に1回実施)の
ところで「実施プログラムの進捗状況について、確認を行い必要に応じて改善を実施」とあ
るが、「進捗状況とそれに伴う効果」となると思う。やりました、何キロ作りました、だけ
だと評価指標との間にギャップが出てきてしまい、うまく繋がらないこともあると思うので
出来ればこの文言でお願いしたい。どんな方法でやるかはなかなか難しいこともあるかと思
うので、それぞれの施策で出来ることをやっていけば良いと思う。いかがか。

(事務局)

進捗状況を確認するために先程お話をあった整備率のようなものを、先程の指標を基にして
毎年確認していく。

(副会長)

先程の指標は大きな指標であって、個々の施策によって良くなったかがわかるのはな
かなか難しいと思う。そうすると指標値が改善されないと、この施策は駄目だったというこ
とになりかねないので、この施策は施策としてこれだけ進捗したとして、何か関連した結果
が得られるのであれば、後の目標値が良くならなかった場合でも、その区分のこの施策につ
いては良かったが、直接大きな目標値の改善に繋がらなかったという説明は出来る。そのつ
なぎがないと、やったけどだめだったという事になりかねない。それは計画の評価としては、
あまり良くないと思う。ものによって測れるもの、測れないものがあると思うので、それぞ
れに応じてすればよいと思う。プロセスとしては、施策の進捗状況とそれによって、もたら
された効果について確認をする。更にトータルとして、目標値がどうなったかはその後評価
する事になると思う。その流れを明確にするために記載しておいたほうが良いのではない
か。

(事務局)

道路整備の評価になると、それぞれの区域での効果を見ることになるかと思う。通学路等
の整備については各学校に意見をいただき、そのあたりの評価で効果を把握していく形で実施
していきたい。

(副会長)

「進捗状況とそれに伴う効果」という文言を入れたらどうかという提案だけなので、問題な
ければ加えていただきたい。計画図書に対する意見として申し上げただけである。

(事務局)

タイトルには「施策実施状況の評価」ということで記載しているので追記させていただく。

(会長)

「進捗状況とそれに伴う効果」という形になろうかという事である。宜しくをお願いしたい。
他にあるか。

(委員)

資料4の11頁。路線バスの見直しで、「葛城線にて循環ルートを導入した」とあり、天神
山～一の宮を循環するルートだと思うが、本当にいいなと感じた。ここを繋げることで、巡
回出来るので、利便性も良くなると思うし、大きな予算をかけなくても、出来ることかと思
う。本当にアイデアや工夫で、利便性が向上するというひとつの実践をされていると感じ
た。

先程、副会長がおっしゃっていた評価と効果について、まさにそうで、道路を延ばしただけで、市民が満足するかという所との兼ね合いだと思う。今まで、市民の立場として意見を言わせていただいたが、利用者目線で考えていただいて、岸和田市が便利になったと感じられるように公共交通の取組みを進めていただきたい。

(会長) 先程からの意見を踏まえて、推進体制(案)については、次回の協議会で再度お示しいただく。

③ その他
(事務局) 本日頂いた意見をもとに「岸和田市交通まちづくりアクションプラン【総合交通戦略編】(素案)」としてとりまとめる。3月末になろうかと思うが、日程を調整し、ご連絡させて頂きたいので宜しくお願いしたい。

(会長) 以上をもって、第4回岸和田市地域公共交通協議会を閉会とする。

岸和田市地域公共交通協議会会議運営規程第5条の規定により

平成29年度 第4回岸和田市地域公共交通協議会の会議録をここに署名する。

議 長

署 名

会議録署名人

署 名